

ジャパネット杯 平成27年度 第39回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

7

男子 女子 2 回戦 ・ 準々決勝 ・ 準決勝 ・ 決勝

会場 グリーンアリーナ神戸 A コート

チーム名	総得点		総得点	チーム名	
神戸星城	<u>20</u>	10	—	8	県立飛騨高山
		10	—	8	
		—			
		—			
		—			
		7mTC			
			<u>16</u>		

2 回戦のカードは、神戸星城対県立飛騨高山。序盤から勢いのあるゲーム展開。神戸星城 4 番辻野

の先制点でゲームが始まった。対する飛騨高山も果敢に攻めるも鉄壁のディフェンスに守られペース

を掴めないが、GK下屋の好セーブ、4 番谷前のミドルシュートで着実に点差を詰めた。開始 13 分

3-4。どちらもリズムを掴めない展開の中、守って速攻でリズムを掴もうとリードする神戸星城。

GK梅田の好セーブから 3 番小池らの活躍で連続得点。ラスト 9 分 9-4。ミスが目立ち始めた神戸星

城に 2 人の退場。その間、飛騨高山が粘り強い攻撃で 3 点連続得点。1 点差まで詰め寄り、流れを変

えたい神戸星城がタイムアウト。2 点のリードで前半が終了した。飛騨高山 4 番谷前のミドルで後半

スタート。連続得点で 10-10。飛騨高山 3 番桂川が退場し 4 点連取で 14-10。飛騨高山 4 番谷前を

中心に攻撃を展開し詰め寄る。後半 15 分両チーム点を許さない攻防が続く苦しいゲーム展開。ラスト

10 分。神戸星城 11 番河井のサイドシュートを皮切りにゲームが動き流れは神戸星城。終始白熱した

戦いだったが粘り強さが、最後まで続いた神戸星城が、20-16 で勝利した。

2016 年 3 月 25 日

記載者氏名 山城梨沙

ジャパネット杯 平成27年度 第39回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

8

男子 女子 2 回戦 ・ 準々決勝 ・ 準決勝 ・ 決勝

会場 グリーンアリーナ神戸 B コート

チーム名	総得点		総得点	チーム名
県立富岡東	17	8	12	県立華陵
		9	13	
		—	—	
		—	—	
		—	—	
		7mTC		

スローオフは県立華陵。先制点は華陵7番（湯浅）。すかさず富岡東4番（鎮西）が得点し同点。

その後は、華陵ペースとなり多彩な攻撃で着々と加点。10分を経過時点で6対2と華陵がリード。

たまたま富岡東はタイムアウトを取る。その後、富岡東が徐々に調子を上げ、連続得点し16分27秒経

過時点で6対5まで追い上げる。華陵もここでタイムアウトを取る。タイムアウト後、華陵③（山本）

が得点し7対5。華陵は退場者が続いたものの、必死のディフェンスで何とか失点を1点にくいとめる。

ピンチをしのいだ華陵は、再び試合を優位に進め、12対8、華陵4点リードで前半終了。

後半は、両者堅い守りで得点を許さず7分を経過。華陵④（福本）が13点目を決めると、また試合が

動き始める。両者激しい攻防が続き、華陵が連続得点し17対11となった時点で富岡東がタイムアウト

を取る。タイムアウト後、富岡4番（鎮西）が得点し17対12としたが、退場者が出た影響もあり、16

分経過時点で19対12と華陵に差を広げられる。その後は、一進一退の攻防が続き、25対17のスコア

で県立華陵が県立富岡東に勝利した。

2016年 3 月 25 日

記載者氏名 正田 慎

戦 評 用 紙

男4

男子・女子 2 回戦 ・ 準々決勝 ・ 準決勝 ・ 決勝

会場 神戸市立中央体育館 コート

チーム名	総得点		総得点	チーム名																		
小松工業	26	<table border="1"> <tr><td>12</td><td>—</td><td>13</td></tr> <tr><td>14</td><td>—</td><td>17</td></tr> <tr><td>—</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>—</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>—</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>7mTC</td><td></td><td></td></tr> </table>	12	—	13	14	—	17	—			—			—			7mTC			30	春日丘
12	—	13																				
14	—	17																				
—																						
—																						
—																						
7mTC																						

1 回戦の激戦を勝ち抜いた小松工業と、この試合が初戦となる春日丘との戦い。小松

工業のスローオフで試合開始。互いに固いDFで失点を許さず、均衡した状況が続く。2

分 19 秒、柴田のミドルシュートで春日丘が先制。しかし、2 分 44 秒、小西のシュート

で小松工業もすかさず反撃。その後は、互いに譲らぬ一進一退の攻防が続く。9 分 34 秒、

小松工業・佐藤の警告で 7mスローを得た春日丘は、坂井が見事に決め 2 点リードとする。

一方、11 分 47 秒、春日丘・今井の退場で 7mスローを得た小松工業は、小西がこれを

決め同点とするが、離されては追いつくシーソーゲームは続き、12 対 13 で前半を終え

る。後半も春日丘が先制。小松工業も 3 連続得点で 1 点リードとするが、春日丘もすかさ

ず同点に追いつく。22 分 16 秒、小松工業・五十嵐が痛恨の 2 分退場。このチャンスを

逃さなかった春日丘は坂井の 7mスローを皮切りに 5 連続得点。終盤に優位に立った春日

丘が逃げ切り、幾度となく繰り返された逆転劇に終止符を打った。

平成 28 年 3 月 25 日

記載者氏名 石田 聡

戦 評 用 紙

15

男子 ・ 女子 2 回戦 ・ 準々決勝 ・ 準決勝 ・ 決勝

会場 高砂市総合体育館

コート

チーム名	総得点		総得点	チーム名
近江兄弟社	26	8	14	守谷
		18	9	
		-	-	
		-	-	
			23	

守谷高校のスローオフで始まった2回戦、守谷高校が吉本のシュートで先制すると、6分すぎの連続得点などで得点を重ね、4点を先行する。追いかけていた近江兄弟社も再三シュートを放ち得点を狙うが、守谷高校の堅い守りとGK古矢の好セーブなどもあり、なかなか得点に繋がれず苦しい立ち上がりとなった。前半10分過ぎから両チームとも少しずつリズムを掴み、好守において素晴らしい動きを見せたが、吉本、加藤、水野の得点などで徐々にリードを広げていった守谷高校が前半を14-8とリードして折り返すこととなった。しかし後半はスタートから近江兄弟社が反撃。近藤の3得点などで、後半17分過ぎについに同点に追いついた。その後、一進一退の攻防を繰り返していたが、終盤になって連続得点をあげた近江兄弟社が追いつがる守谷高校をおさえ、見事な逆転勝利を収めた。

28年 3月 25日

記載者氏名 雪岡 恭介

戦 評 用 紙

15

男子 女子 2回戦 ・ 準々決勝 ・ 準決勝 ・ 決勝

会場 加古川市立総合体育館 コート

チーム名	総得点		総得点	チーム名
高水	43	20	11	長良
		23	9	
		—	—	
		—	—	
		—	—	
		7mTC		

ともに今大会の初戦は、高水のスローオフで開始。開始10分まで、長良は3番小島、高水は11番横田のシュート等で点を取り合う。高水が得点を重ねるが、13分、長良3番小島がパスをインターセプトし、そのまま得点。15分を過ぎ長良の退場が重なる間に高水は得点を重ね、20分には6点差がつく。その後も、高水は9番本間・7番塩川・4番日柳がシュートを決める。長良は3番小島・4番佐藤を中心に反撃するも9点差で前半終了。後半点を取り合うスタート。6分長良に退場・失格が連続。徐々に高水が長良を押し込みはじめる。広くコートを使いながらパスをつないで攻撃する高水に速攻で長良は反撃を試みる。しかし高水は7番塩川・5番柿本・4番日柳・10番亀谷らが点を重ねる。長良も3番小島・4番佐藤を中心にシュートを決めるが、高水の組織的なディフェンスと、キーパー碓井に阻まれる。27分、長良に失格者が出る。最後まで攻撃の手を緩めなかった高水が押し切る展開で後半が終了。43-20のスコアで高水高校が勝利した。

2016年 3月 25日

記載者氏名 塩谷 裕司